

素朴な味わい後世に

素朴な玩具として人気の「下総玩具」の創始者で、満100歳を迎えた松本節太郎さん。柏市根戸の全作品500点以上を公開する「松本節太郎資料室」写真展が6日、柏市旭町4のギャラリーヌーベルにオープン。これを記念して「100歳の個展」が、同日から同ギャラリーで始まった。個展は23日まで。個展、資料室とも入場無料。

—生活の糧に— 土人形考案

松本さんは東京・下谷の染色店に生まれ、戦災で45年3月、柏に移住した。戦後、生活の糧として干支、七福神、・西遊記、河童、一文びなどの土人形を独自に考案し、これらを「下総玩具」と名づけた。



松本節太郎さん

松本さんは88年4月、東葛飾地区の文化功労者に贈られる「第1回ヌーベル文化賞」を受賞。それ以来、同賞設立者の一人である鈴木昇・ギャラリー・ヌーベル社長(54)との文化交流が15年余りも続いている。

柏のギャラリー
ヌーベル 2階

下総玩具の資料室オープン



創始者松本さん100歳展

開館記念し
23日まで
500点超す力作

松本さんは100歳の誕生日を迎えた今年1月、鈴木社長に対し「私は後継者がなく、一代限り。下総玩具類をそっくり渡すので、大切にしてほしい」と伝えた。

このため、鈴木社長は自身の下総玩具の創作姿を社の画廊・ヌーベルの2階和室を「松本節太郎資料室」に改造した。寄贈された下総玩具類は、製作年度別、種類別に展示している。個展では作品の一部の販売も行う。

04・7146・6800
【大矢武信】